

従業員へ10億円支給

コロナ慰労 個人資産から拠出

丸和運輸機関の和佐見勝社長は、新型コロナウイルス感染拡大による「巣ごもり」需要の拡大から、個人宅配送物量が急増して業務負担が増えたとして、今までにパートタイムを含めた全従業員約1万人に総額10億円を支給する。金額を和佐見氏の個人資産から拠出する。

和佐見氏が個人資産から従業員に慰労金として支給するのは、2017年6月にアマゾンジャパン(ジェフ・ハヤシダ社長、東京都目黒区)の配達がスタートして業務量が一挙に拡大したとして、18年に5億円を

支給しており、今回が2回目となる。

20年は同社の創業50周年に当たる。00年の創業30周年を「第2の創業」と位置付けており、50周年の今年

は「第3の創業」としている。今回は、コロナ禍の慰労金と、記念としての感謝を兼ねて10億円に倍増した。

約3500人の社員には役職に応じて最大100万円を支給。約6500人のパート従業員には最大5万円が支給される。まず、8月中旬にパート従業員、10月に社員に対してそれぞれ贈られる予定。(谷本博)

丸和運輸機関社長